



元気に育て稚児の土俵入り



お迎えは横綱の土俵入り



お孫ちゃんもビックリ 玉鷲関と



熱戦！プロアマ対抗戦

じよんさんのお楽しみ日記 78

「乙亥大相撲見物」の巻

私の好きなスポーツの一つに相撲があります。

子供の頃は野球の道具もまだまだ少なく、何もなくても円を描けば出来るのが相撲でした。各々の部落で子供相撲があり、友達に誘われていろいろな所へ行き、賞品を貰うのが楽しみでした。

小学生の頃には近くの大宮八幡宮で大相撲の巡業があり、横綱鏡里や大関大内山などが来ました。隣の伯父の家には十両の甲斐の山が泊まり一緒に食事したことを覚えています。

町長時代には正宗寺の田中和尚さんの紹介で九重親方と交流が始まり、食事、ゴルフそして両国国技館での還暦土俵入りでは正面の最高の席を用意してくれました。

又、片男波親方(元玉春日)にも町の行事にご協力頂き、砥部焼まつりで一緒に餅つきをしたり、断髪式にも呼んで頂きました。

さて、毎年九州場所が終わると大相撲の力士が乙亥大相撲にやってきます。唯一のプロとアマの対抗相撲として有名です。

起源は今から百六十八年前、野村地区が度々の大火災に悩まされた時代野村庄屋「緒方惟貞」が愛宕神社を再建し、願相撲を奉納したことに始まると言われています。

行ってみたいと思いつながら中々予定が合わなかったのですが今年は友人の松廣さんにお誘い頂いて見物に行つて来ました。

今年初場所優勝の玉鷲関、元横綱朝青龍の甥で新十両の豊昇龍、そして大鵬の孫で幕下の納谷等が来所相撲甚句、乙亥太鼓、プロアマ戦、稚児土俵入り等大満足の日でした。



中村剛志